

たしかな成長の跡

校長 武井 正明

今日は初アオーレから始まった。

会場は意外だった。木が多く使われており、和の落ち着いた雰囲気だ。プロも試合をするこの舞台上で吉中の選手たちはプレーするのか。なんだか緊張してきた。

試合に備える君たちを見ていると、一年という時間の長さを思わずにはいられない。

それぞれが精神を整えて、ゲームに挑む。相手は六日町。

ボールに食いつくように、粘り強く敵を追う。フリースローも冷静に、淡々と決めた。

彼らは着々と加点していった。これならなんとか行けそうだ。

勝利を信じて、水泳会場に向かう。

何度見てもこのプールは大きく、素晴らしい会場だ。今日は女子4×100mメドレーリレーを観る事ができた。水に飛び込む瞬間、彼女らは何を見て、何を考えるのだろうか。4人ともすごい推進力で水に乗っていく。そのストロークは流れるようだ。

下級生たちが必死に繋いでアタマとラストは3年生ががちり固めた。最後の追い上げも見応え十分の素晴らしい5分11秒89であった。

もう少し観たい気持ちを抑えて、今度は小千谷体育館に向かう。

剣道部女子の成長を見るためだ。

先月県央大会で悔しい敗戦ながらも、部活動指導員の長谷川先生から収穫の多い試合だったとお褒めの言葉をいただいていた。昨年からの一年間もそうだが、中学生は一瞬で別人になる。これが中学教師の醍醐味。そう、彼女らが「化ける」瞬間を観たかった。

会場は昼休みだった。お弁当を囲んでにこやかに笑う。いつもの彼女たちそのまま。

試合前の練習の動き…いいぞ。素人目だが前回よりもまた打つ形が、ぐっと様になっているような印象を受ける。練習は裏切らない。

そして対堤岡戦は始まった。

不戦勝のふたりの試合が見られなかったのは残念だったが、しっかり攻めて引き分けを取り切ったふたりの試合運びに、大きな成長を感じた。

午後は外せない会議がある。後ろ髪を引かれる思いで会場を後にした。

そして帰校後に大和、長岡南を撃破して、なんと予選リーグ1位通過県大会出場の朗報が出口先生から届いた。

素晴らしい快挙だ。中学から剣道を始めて、地道に努力を重ねてきたあなたたちに、神様のご褒美をくださったね。本当におめでとう!! すごいな。

明日は男子バスケ、運命の5位決定戦へ、痺れる戦いが続く。明日も君たちに熱視線だ。君たちの本気を観たい。魅せてくれ。